

2022 年度

Ayusa

アユサ高校交換留学

アメリカで学ぶ

Ayusa by Intrax

© 2021 Ayusa International. All rights reserved.

アユサとは

アユサインターナショナルについて	2
アユサインターナショナル組織図	3
アユサの特徴	4

高校交換留学とは

高校交換留学とは	5
高校交換留学と私費留学の違い	5
合格から出発・帰国までの流れ	7

サポート体制

事前学習	10
充実したオリエンテーション	11
アメリカのサポート体制	13

留学生活

先輩・保護者の声

先輩の声	17
保護者の声	19
帰国後の進路	20
大学受験体験談	21
よくある質問	22

募集要項：2022 年度派遣

募集要項	23
奨学金制度	24
説明会・選考試験	25
アユサインターナショナル日本事務局連絡先	27
アユサ高校交換留学選考試験願書	28

アユサとは

ABOUT US

アユサインターナショナルについて

米国非営利教育法人アユサインターナショナル（以下、アユサ）は、米国国務省からアメリカの高校交換留学の際に必要な J-1 ビザ（交流訪問者ビザ）のスポンサーとして認可されている教育団体です。

アユサは、Intrax（イントラックス）の高校交換留学部門として、Chairman（取締役会長）であるアメリカ人の John F. Wilhelm と Chief Executive Officer（最高経営責任者）である日本人の横田剛によって 1980 年カリフォルニア州サンフランシスコに設立されました。

これまでに世界 70 ヶ国以上の国々から延べ 45,000 人以上の高校生をアメリカに受け入れてきたアユサは、米国国務省や CSJET（米国国際教育旅行基準協会）などの政府機関と共に、より良い交換留学の提供を目指しています。アユサは、高校交換留学を通して世界平和の実現を目指すべく、米国国務省の要請のもと、国単位の異文化交流事業も運営しています。その1つに、YES（Youth Exchange and Study）というプログラムがあります。

このプログラムは、2001 年 9 月 11 日の同時多発テロ以降に悪化したアメリカとアフガニスタン、クウェート、レバノン、パキスタンなどイスラム諸国の関係回復を目指して米国国務省が開始し、アユサは運営リーダーとして携わっています。

また、アユサ日本事務局は、1985 年にアユサ初の海外事務局として東京に開設され、これまでに約 4,000 名の高校生をアメリカの高校へ派遣しています。

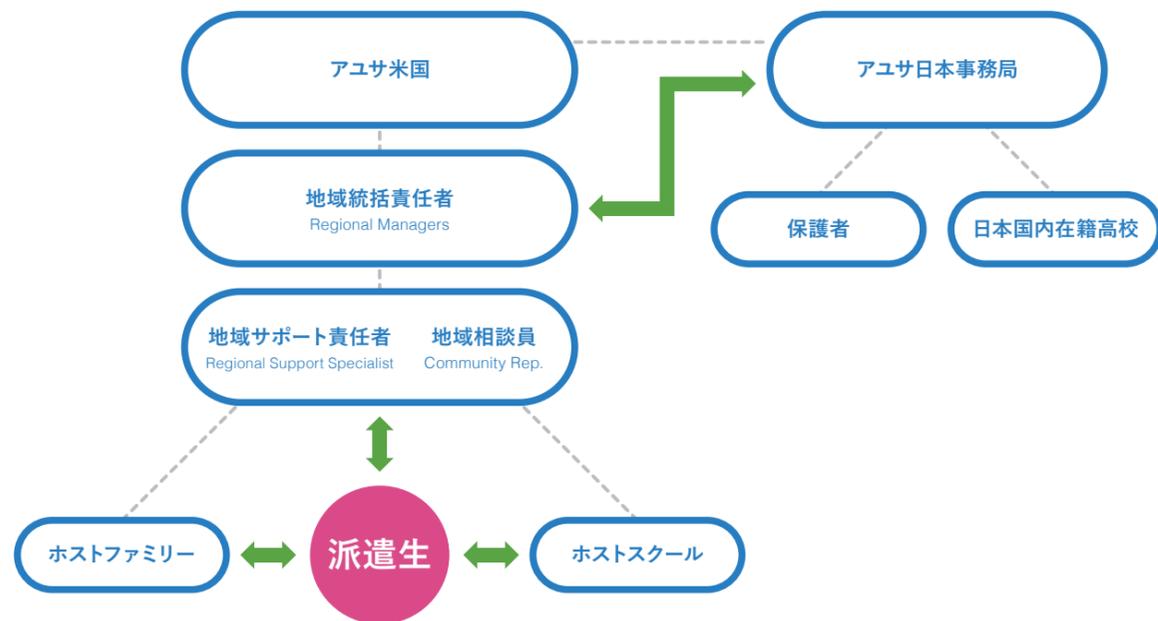
アユサが目指すもの

アユサでは、アユサの高校留学派遣生がボランティアで受け入れてくれるホストファミリーや現地の高校、地域社会との関わりを持っていくことを大切にしています。派遣生の皆さんは、留学を通じて高い語学力を身につけるだけでなく、日本の代表として高校や地域社会の中で日本文化を伝えていく機会を持ち、たくさんの人と交流を深めてください。

積極的に交流することによって日本とアメリカの文化を理解し、お互いに尊重し合うことや、リーダーシップのとり方なども学ぶことができるでしょう。実際に留学を経験した多くのアユサの先輩は「自分に自信がついた」、「意見をはっきり言えるようになった」、「政治に興味を持つようになった」、「日本を誇りに思うようになった」などの感想を述べています。留学の経験は、新しい価値観の発見、人間としての大きな成長につながっています。



アユサインターナショナル組織図



アユサは、米国国務省からアメリカの高校交換留学の際に必要な J-1 ビザ (交流訪問者ビザ) のスポンサーとして認可されている教育団体です。日米のアユサが一つの団体として、派遣生の選抜、オリエンテーション、派遣先決定、渡米中のサポートなどを行っています。アメリカ滞在中は、現地の地域相談員または地域サポート責任者が派遣生の身近な存在となりサポートします。



アユサの特徴

これまでに世界の約 45,000 人がアユサを通してアメリカ高校交換留学をし、国際人として幅広い分野で活躍しています。

アユサ米国・日本は 1 つの団体

アユサは、米国国務省からアメリカの高校交換留学の際に必要な J-1 ビザ (交流訪問者ビザ) のスポンサーとして認可されている教育団体です。日米のアユサが一つの団体として派遣生の選抜から渡航中のサポートまで一貫して行います。

事前学習サポート

アユサでは、事前学習の機会として定期的に、「英語で学ぶ数学」や「英語で学ぶアメリカの歴史」などの授業を行っています。アメリカでは全ての授業が英語で行われ、発言を求められます。そのため、事前に英語力をアップさせていくことが大切となります。この事前学習では、渡米前に英語の授業形態に慣れ、英語で問題を解き、英語で意見交換ができることを目指します。

アユサが目指すもの

アユサ高校交換留学の留学先はアメリカです。「アメリカンドリーム」とは、平等に与えられた機会を生かし、勤勉と努力によって勝ち取ることができる成功の概念です。アメリカでは、生徒一人一人が将来の目標を持って、勉強したり、意見交換をしたり、発表したりしています。アメリカの高校生と机を並べて勉強することで英語力がアップするだけでなく、発言力が身についたり、幅広い視野を持つことができるプログラムです。

先輩とのつながり

アユサを経験した先輩達は、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、国際基督教大学、アメリカの大学などに進学をしています。受験については、約一学年、アメリカで暮らし、英語で授業を受けることで、英語が得意科目となり、受験の際には、英語にかかる時間を他の科目にかけることができたという意見が多く聞かれます。また、自主的に勉強をする力が養われるため、帰国後も効率的に受験勉強ができるといいます。就職先については、大手企業や海外の企業で活躍したり、起業家として成功したり、教師として人材育成に尽力している先輩達があります。

高校交換留学とは STUDY ABROAD



01 SPONSOR

アユサは高校交換留学のビザの Sponsor

高校交換留学は、アメリカ国務省に認可された教育団体がビザの Sponsor となり、プログラムの管理・運営を行っています。アユサは、そうした教育団体のひとつです。交換留学は大きな意義を持つものであり、それによって生み出される国際交流や相互理解の目に見えない価値は、各国で大きく評価されています。

02 HOST FAMILY

ボランティアホストファミリー

高校交換留学のホストファミリーはボランティアホストファミリーとなり、派遣生を無償で受け入れます。交換留学では、滞在する地域やホストファミリーなどを選ぶことはできません。

その理由は、交換留学が社会事業であり、その目的は、その国の生活そのものを体験する国際交流にあるからです。現地では、ホストファミリーに感謝しながら明るく前向きに生活する事が大切です。

03 SCHOOL

無償の公立高校

高校交換留学は原則的には公立高校は無償で派遣生を受け入れています。学校が留学生を受け入れるのは、生徒同士が広い世界に興味を持ち、異文化を理解し、交流をしてほしいからです。派遣生がホストスクールで多くのことを学ぶように、ホストスクールの在校生も派遣生から学びます。派遣生は、好奇心を持って様々なことに挑戦し、機会を見つけて積極的に自国の文化を紹介することが大切です。また、高校交換留学の場合でも私立高校に通うことも可能ですが、その場合は、別途授業料が必要となります。

04 TOGETHER

相互理解を深める

高校交換留学の目的は、文化交流です。高校生の交換留学とは、アメリカ国務省が推進する人物交流計画の一環として始められた「Secondary School Students' Exchange Visitor Program」を指し、これは、人物交流のビザで、1(学)年間を上限として、ホームステイをしながら滞在地域の、主に公立高校に留学するものです。1学期(セメスター)~1学年間の異文化での生活体験を通じ、英語を学ぶだけでなく、その国の社会・文化を知り、さらに自国の文化を見つめ直し、自分自身をも成長させていくことを目的としています。そのため、現地での高校卒業や、単位取得などを目的にはいません。交換留学は一方的な関係ではなく、相互に得るものが多いプログラムです。

高校交換留学と私費留学の違い

高校時代の留学は、交換留学・私費留学の2つに分けることができます。交換留学では、国際交流を目的に1学年、ボランティアホストファミリーに滞在し、主に公立高校に通います。一方、私費留学では、ホストファミリーに滞在費を、私立高校に授業料を支払い、1学期間~卒業まで学びます。

	ホストファミリー	ホストスクール	地域選択	学校選択	留学期間	留学費用(1学年間)
交換留学	無償	公立は基本無償	不可	不可	1学年 (派遣先決定時期などによって異なる)	約128万円*
私費留学	有料	有料	可 (提供していない州もあり)	可	卒業も可能	約300万円~*

*留学費用に航空代金等は含まれません。

早めに登録して準備を始めることが大切！

合格から出発・帰国までの流れ

2021年4月～
2022年2月ごろ

- 説明会に参加、選考試験を受ける
- 合格通知が届いたら留学準備を開始！
- ホストファミリー・ホストスクールに自分をアピールできるようなアプリケーションを作成
- スカイプ英会話レッスンや、その他、事前学習を通じてさらに英語力をアップ



説明会・個別相談会に参加しよう！

アユサでは、毎月、説明会を実施しています。説明会では、アユサ高校交換留学についての説明やアユサの先輩の体験談を聞くことができます。高校交換留学に参加することで、どのような体験ができるのか、どれだけ成長できるのかを直接聞くことができる機会となります。また、随時、個別相談会も受け付けています。



選考試験

アユサでは定期的に選考試験を実施しています。また、東京の事務局での個別受験は随時可能です。選考試験は、高校交換留学に参加するために必要な「英語のテスト(ELTiS)」と「保護者同伴の面接」となります。この選考試験が留学への第一歩になりますので、ぜひ挑戦してみてください。
※英語のテストの種類は変更となることがあります。

合格後



英文アプリケーション作成

選考試験の合格者には、合格通知と英文アプリケーションフォーム一式を送付します。この英文アプリケーションには、留学の動機や目標などをまとめたエッセイ作成やホストファミリー宛の手紙作成、自己アピール動画作成等があります。また、医師や学校の先生が記入する書類も含まれます。これを基に、ホストファミリーやホストスクールが受け入れについて検討します。



準備期間

アユサ高校交換留学に参加するためには、8ヶ月から10ヶ月の準備期間を持つのが理想的です。なぜなら、試験合格後も、現地の高校の授業についていくための英語力をつけることが必要です。予防接種を受けたり、英文アプリケーションを作成したり、春のオリエンテーションのための課題に取り組んだり、準備することがたくさんあるからです。早めに試験を受け、余裕を持って準備を進めることが留学成功へのカギとなります。



日本文化・生活面の準備

英語の勉強以外にも、日本文化について調べたり、ホストファミリーに紹介する日本食のレシピを覚えたり、身の回りのことは自分でできるよう心掛けたりと留学のための準備が必要となります。派遣生は、日本からの親善大使として現地で日本に関する色々な質問を受けるでしょう。日本文化や日本史を学ぶこともとても大切です。

3月

- 春のオリエンテーションに参加
- 様々なケーススタディを通して留学の準備をする

春のオリエンテーション

同じタイミングで留学をスタートさせることになる派遣生に向け、講義やディスカッションを通じて交流したり、留学に向けた心構えや注意点を一緒に学んだりします。先輩から貴重な体験談を聞ける機会でもあります。
※オンライン実施となる場合もあります。

6月

- 保護者同伴オリエンテーションに参加
- ビザ面接を経てJ-1ビザを取得

保護者同伴オリエンテーション

出発前に保護者同伴のオリエンテーションを行い、出発から帰国までの流れ、留学中の規則や注意点などをひとつひとつ確認していきます。また、出発を目前にして出てきた具体的な疑問にお答えする場でもあります。
※オンライン実施となる場合もあります。

7月～9月

- 派遣生それぞれのホストファミリー宅に向けて出発
- 留学開始！

ホストファミリー宅に
滞在しながら、
現地の学校に通い
1学年間を過ごす。

留学開始から帰国

出発時期・帰国時期は派遣先となる学校やホストファミリーの状況によって前後します。派遣生たちはそれぞれのホストファミリーの住む地域に派遣され、その地域の人々と交流を深めながら現地の高校生と一緒に学びます。



2023年
5月～6月

日本へ帰国

サポート体制

SUPPORT

アユサは合格後からすでに高校交換留学が始まっていると考えます。出発までの準備や事前学習に重点を置き、継続した英語力の向上はもとより、問題解決力、判断力、先輩とのつながり、家族との絆、アユサとの信頼関係などを築くことを大切にしています。



事前学習



留学はアユサに合格・登録した時から始まっています。実際に渡米する前にどれだけ準備をしていくかが、留学生生活をスムーズに開始するための鍵となります。さまざまな事前学習はアユサの特徴の一つです。



ELTiS 対策

高校交換留学参加の際に必要な英語のテスト (ELTiS) に備えて効率的に勉強できるように、単語リストを提供しています。また、ELTiS 対策講座も定期的実施しています。この ELTiS 対策講座では、読解方法や単語の覚え方等を学ぶことができます。※英語のテストの種類は変更になることがあります。



英語による他科目の授業

事前に現地の授業形式や英語での授業に慣れるため、アメリカの歴史や数学の授業を定期的実施しています。この講義では、アメリカ史の知識を身に付け、英語で数式の表現方法や解き方を理解することを目的としています。



スカイプ英会話 (有料)

アユサではスカイプを利用した「スカイプ英会話個人レッスン」を有料で提供しています。

一般コース

中学・高校で英会話を教えているネイティブ講師がスカイプで個別レッスンを行います。留学前に英語で聞く・話すことに慣れ、ホストファミリー、先生、友達、地域の人々とスムーズに交流ができるようにすることが目的です。

アメリカ史コース

このコースでは、アメリカ史の基礎を学びながら、英語でのアメリカの対話形式の授業スタイルに慣れることが目的です。アメリカ史は多くのアメリカの高校で必須ですが、初めての内容を英語で理解する必要があるため、アユサの先輩から「日本で勉強しておけば良かった」というフィードバックが多い科目です。アメリカ文化を理解する上でも事前に準備することが大切です。



充実した オリエンテーション

アユサは、派遣生の留学準備をサポートするため、
4つのオリエンテーションを行っています

 登録
オリエンテーション

 春の
オリエンテーション

 保護者同伴
オリエンテーション

 出発前
オリエンテーション

高校交換留学は、短期間のホームステイや旅行とは異なり、派遣生がアメリカの高校生と同じ様に学び、生活することで、お互いの文化を深く理解し尊重できるようになることを目的としています。派遣生は、プログラムの中で文化も言葉も異なるホストファミリーと一緒に過ごし、地元の学生たちと一緒に学校で学ぶことで様々な問題と向き合い、英語力だけでなく自立心を養うこととなります。その準備として、各オリエンテーションではアユサ高校交換留学の流れ・ルールの説明や緊急時の対応だけでなく、プログラムを成功させるための心構えや、ホストファミリーとの関わり方、実際にあった現地での問題やその解決方法について学びます。

1 
登録
オリエンテーション

アユサでは、登録した派遣生を対象に、対面またはオンラインにて登録オリエンテーションを行っています。このオリエンテーションでは留学までの流れの説明や英文アプリケーション作成についてのアドバイスをします。また、アメリカでの留学において重要となる異文化理解や更なる英語力の強化について説明します。

2 
春の
オリエンテーション

例年3月中旬～下旬の時期には春のオリエンテーションが行われます。このオリエンテーションは全国のアユサ生が参加します。また、アユサの先輩も参加します。アメリカの文化、授業の受け方、ホストファミリーとの生活、アユサ高校交換留学のルールなどを理解し、留学に対しての心構えや基礎知識を学びます。アユサの派遣生が留学に向けてより一層の意欲をもって取り組めるように実施する大切な研修です。また、同じ志を持ったアユサ生と知り合う場となります。

- 留学中に起こりうる問題についてのケーススタディとディスカッション
- グループによる問題解決方法についてのプレゼンテーション
- アユサの先輩による体験談と質疑応答
- 留学中の注意点に関する講義

3 
保護者同伴
オリエンテーション

出発前の準備の総まとめとして、保護者同伴オリエンテーションを行います。ここでは、派遣生と保護者に改めてアユサ高校交換留学のあらましや、アメリカの生活文化・学校生活、留学に必要な心構え、守るべきルール・注意点などの説明だけでなく、出発から帰国まで留学全体の流れや、海外送金、保険、携帯電話についてなど具体的な事柄もお伝えします。

- アユサ高校交換留学の目的や流れ
- アメリカの生活文化
- 学校生活
- 派遣生の心構え
- 注意点
- 保護者としての心構え
- 参加における規則の確認
- 荷物、送金、保険 など

4 
出発前
オリエンテーション

派遣先が決定し、出発便も確定した派遣生に出発前オリエンテーションを行っています。このオリエンテーションでは、対面またはオンラインにて、出発当日の持ち物に関する最終確認をしたり、搭乗する便の情報や、搭乗便乗り継ぎの方法、乗り継ぎで使用する空港の情報などの確認をします。



アユサはこれまで35年以上にわたり、高校交換留学を運営してきました。派遣生が安全に、そして実り多い留学生活を送ることができるよう、アユサ日本事務局・アユサ米国、およびアメリカ現地スタッフとの連携による、サポート体制を整えています。アメリカ到着後、滞在地域では、アユサ生一人ひとりに担当地域相談員 (Community Rep.) がつき、相談することができます。地域相談員は皆さんの滞在するホストファミリーや受け入れ高校を決定したり、留学中の様子を滞在先の地域の中で見守ったりする、身近な存在です。その他にも、地域サポート責任者 (Regional Support Specialist) や地域統括責任者 (Regional Manager)、アユサ米国のスタッフなど、全てのアユサのスタッフが連携して、皆さんの留学生活をサポートします。また、アユサ日本事務局は、派遣生の留学中も保護者や在籍高校と連絡を取り、緊急の場合に備えて 24 時間の連絡体制を整えています。

MESSAGE

アメリカ現地スタッフからのメッセージ

こんにちは。私達はアユサ高校交換留学を米国本部より運営し、派遣生のサポートをしています。スタッフそれぞれが異文化交流を経験しており、異文化に接することがいかに貴重なものであり、また素晴らしいものであるかについて理解しています。現在、私達はアユサ高校交換留学運営者として皆さんにかけがえのない体験を提供できることに喜びを感じています。

今までの経験を生かし、皆さんが留学を成功させ、また、アメリカで自分の夢をかなえられるように、お手伝いしていきたいと思っています。

多くの高校生は長期間、親元を離れることでのホームシックや学校の友達と会えないことの寂しさ、あるいは何か大事なものを見逃してしまうのではないかと

恐れから、留学するのをためらいます。しかし、もしあなたが留学をしなかったら、もっと大切なことにめぐり合わないまになってしまうかもしれません。

高校生だからできる留学、人生に一回きりの機会に是非チャレンジしてください。

アメリカで皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



アユサ高校交換留学
アメリカ現地スタッフ一同

留学生活

SCHOOL LIFE

アメリカに派遣されるアユサ生は、全米50州の高校に配属されます。編入する学年は日本の学年に応じた学年であることが多いのですが、州や学区の考え方で、必ずしも同じ学年ではない場合もあります。アメリカの高校の多くは単位制で科目登録が必要なので、スクールカウンセラーと相談して履修科目を決定します。アメリカの高校教育では学力の向上とともに、生徒一人ひとりに合わせて目的達成や個性を伸ばすことに重点が置かれています。

学校行事

アメリカの高校ではさまざまな学校行事を企画しています。スポーツ試合の観戦、演劇やコンサート鑑賞、ハロウィーンやダンスパーティーなどの行事に参加することで、周りの人達との絆を深め楽しい思い出をたくさん作ることができるでしょう。



クラブ活動や地域活動

学校や地域によって異なりますが、多くのアメリカの高校には、演劇、美術、聖歌隊、オーケストラ、ジャーナリズム、コンピューター、バスケットボール、テニス、チアリーディングなどのクラブ活動があり、また、地域に貢献する活動があります。放課後のそうした活動にも積極的に参加することで、友達の輪を広げることや、新たな興味を発見することができるでしょう。

また、多くの学校で部活動をシーズン制で行っていますので、シーズンごといくつかの部活動に参加することができます。学校によっては、クラブ活動が少ないこともありますが、地域のボランティア活動に参加したり、趣味の幅を広げたりすることでアメリカの文化に触れることができます。

地域活動への参加

派遣生を受け入れるのはホストファミリーだけではなくありません。派遣先の地域全体です。アユサ生は、地域の学校や教会、病院、動物保護施設などのボランティア活動に参加することで、滞在する地域との交流を深めていきます。自分にできることで十分です。このような社会活動を通して、アメリカ社会を理解し、新たな友人関係を築き、生活する地域全体へ感謝の気持ちを伝えましょう。

ボランティアホストファミリー

高校交換留学のホストファミリーはボランティアホストファミリーとなり、派遣生を無償で受け入れます。毎日の生活を通して、アメリカ文化を肌で感じることができるでしょう。ホストファミリーからアメリカ文化を学ぶように、皆さんもコミュニケーションを積極的にとって第二の家族となるホストファミリーに日本の文化を伝えていきましょう。

他国の派遣生との交流

アユサ高校交換留学には日本以外にも多くの国から派遣生が参加しています。現地の高校では機会があればアメリカ人の学生だけでなく他国からの派遣生とも積極的にコミュニケーションをとっていきましょう。また、他国の派遣生と同じホストファミリー先に滞在するダブルプレースメントを選択肢のひとつとすることで、アメリカ以外にも、いろいろな国の文化を知り、世界中に友達の輪を広げていくことができます。



「置かれたところで咲く」を胸に悔いのない留学生活を送る

金谷さん 都内私立高校在学中 / 派遣先：フロリダ州

約10ヶ月の留学生活の幕が閉じ 1 週間ほど前に日本に帰国してきました。今はなんだか、急に夢から覚めたというか現実に戻ったような不思議な気持ちです。そのくらいこの10ヶ月は、あっという間で辛いこともたくさんありましたが、とても楽しく充実していました。今回のレポートでは、私の留学生活を終えての感想と、留学を考えている後輩達への応援メッセージやアドバイスについて書かせていただきます。

このアユサの1学年の留学のプロジェクトに参加するという事は全く新しい環境に 1 人で飛び込むと言うことです。違う言語、新しい家族、新しい学校。この全く違う環境に飛び込み、適応していくということは、決して簡単なことではありません。しかし、この 10 カ月間を乗り越えることで、様々な経験を積むことができ、人として大きく成長できました。

アメリカでの学校生活が始まったばかりの頃、私は英語が全く分からず、何を聞かれてもとりあえず頷いているような状態でした。しかし、その学校初日の日に、ここでは自分で進んで動かなければ何も起こらないということに気づき、次の日からは、積極的に先生たちや友達とコミュニケーションを取るようになりました。自分が留学生であるということを知ってもらおうということは本当に基本的かつとても重要なことです。たくさんの人とコミュニケーションを取ることで距離も縮めることができ、帰国前には日本に訪れることを約束してくれた先生や友達もいました。

クラスメイトに、日本についてもっと知ってもらいたいと思い、日本についてのプレゼンテーションをしました。自分で企画し先生に交渉し許可をいただき、授業の中で日本の文化や言語などを紹介することができました。みんな、日本について興味を持ってくれてたくさんの質問が飛び交うような充実した時間をクラスメイトと共に過ごすことができました。

今、留学を考えている人たちの中に、友達ができるかどうか不安に思っている人がたくさんいると思います。私もそうでした。友達を作るには、1. 笑顔、2. 自分から話しかける、3. 部活動などに積極的に参加する、この三点につきます!!!自信を持って笑顔で頑張ってください。



留学前に、渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を胸に頑張ろうと決めていました。実際に留学生活を終えて、自分は置かれたフロリダ州で立派に咲けたと思います!何も後悔はありません。この10ヶ月、アメリカに留学できて本当に良かったです。お世話になったホストファミリー、大切な友達や先生方、もちろん日本の家族とアユサのスタッフの方々に、言葉では言い表せないぐらいの、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今、留学を考えているみなさん、充実した 10 ヶ月になるように頑張ってきてください!応援しています!!

エンジニアになる夢を具体化できた

高階君 横浜国立大学在学中 / 派遣先：アリゾナ州



幼い頃に旅行や両親の仕事の関係で海外に行ったことがきっかけで、昔から海外で働くことに興味を持っていました。また、中学校3年生の時に土木エンジニアという仕事を知り、それ以来ずっと発展途上国で活躍する土木エンジニアを志しています。アメリカへ留学することがその夢へと自分が大きく近づく機会となることを確信し、留学を決めました。

私は、ホストファザーと、彼の知り合いの大学生と、ダブルブレースメントのフランス人と一緒に暮らしていました。週末は庭の掃除を手伝ったり、キャンプファイヤーをしたりしながらゆっくりと過ごしました。特に思い出に残っていることは、みんなでハイキングに行ったことです。私がいたアリゾナ州は砂漠とサボテンがどこにでもあるような場所でしたが、聳え立つ山から見た景色は自分の言葉では表せないほど綺麗でした。そこへおやつと昼ごはんを持ってホストファミリーとお喋りしながらハイキングをした思い出は忘れられません。

学校ではゴルフとバレーボールに挑戦しました。特にゴルフは私ともう1人の友達とコーチで和気藹々と放課後に練習していました。休日も友達とゴルフのゲームをしたり、シーズンの最後には 3 人でステーキを食べに行ったりしたことが良い記憶として残っています。

留学を通して、コミュニケーション能力はもちろん、自分の目標に対しての具体性と覚悟、行動力がついたと思います。私自身、もともと土木という分野に興味があり、留学を通して、私がいたアリゾナの土木の歴史を調べるほか、訪れた場所の土木建造物の写真を撮り、記録に残すといったことに力を入れました。特に留学中にメキシコに行っ

たことが自分にとって印象的で、カラフルな街並みに魅了されながらも、インフラの維持管理が今後の課題であることを実感しました。この経験から留学前は土木エンジニアとして人の役に立ちたいという漠然とした目標が、中南米でインフラの維持管理に携わるという具体性を持った目標に変わりました。

この決心に至る過程の中でも、留学中にもっとアメリカで見るべきことがあった、調べるべきことがあったと後悔することもありましたが、こうしたことも含めて留学した経験全体が大学でもっと専門的に土木を学び、それを活かして人の役に立つ仕事をしたいという気持ちの原動力になりました。こういった点で留学によって自分の夢への思いとそれに対する行動力が特に成長したと思います。

これから留学を考える人に伝えたいことは、留学を英語能力の向上という目的だけでなく、自分の好きなこと、将来したいことなどの違う視点で一年間意識的に過ごすとともに有意義なものとなるということです。

英語能力に関しては、中学高校で学習してきた文法や語彙が基礎となり、留学期間中はアカデミックな内容を中心に学習することになると思います。そのため、決して留学しただけで英語力が上がるのではなく、中学高校の積み重ね、留学期間中の学習方法、学習量によって個人の英語能力の伸び幅は変わってくると思います。

また、留学に行く前に自分が好きなこと、将来携わってみたい分野（教育、経済、その他）と留学先でそのために何ができるのかを自分で考え、他の人にシェアしてみることをおすすめします。留学中はその分野について日本と比べながら、現地の人に話を聞いたり、現場を訪ねたりすることで、課題や新しいことの発見ができると思います。

留学という機会は日本の都会の喧騒から離れ、違った環境から今までの自分を見つめ直し、将来について考える絶好の機会だと思います。大変なこともあると思いますが、何事に対しても貪欲に学び、経験して有意義な留学にしてください。全力で応援しています!!

保護者の声 VOICE

佐藤様 保護者

「あのさ、俺アメリカに行ってみただけ」今まで留学などに興味のかけりも見せたことなかった息子（当時高校1年）からその言葉を聞いたときは「なぜ？」という言葉と「よし！」という二つの言葉が心に浮かびました。小さいことから割と引っ込み思案で人見知りの傾向があった息子が、なぜ自ら今の環境から飛び出そうとしたのか不思議に思ったのと、一度は必ず海外で生活をし、日本との違いを認識すると共に、日本の本当の良さを発見して欲しいという気持ちから、息子の思いがけない留学という思いを複雑な感情で受け取りました。

留学当初は英語も拙く、稀に送られてくる現状報告の英語も英文を並べただけのもので、この状態で授業を受けるのかと想像すると、その苦勞の程が容易にうかがえました。しかし3か月ぐらい経過した頃に送られてきた英文は当初とは見違えるほどの文章になっており、その成長の程に目を見張った記憶があります。帰国後に聞くと、やはりまったく日本語が通じない環境で生活するにはとにかく英語力を高めないといけないということで、今までした事のない程の努力を重ねていたとのことでした。これは自分自身を甘えの許されない環境に置いたことによる大きな成果であると感じています。

留学中私はほとんどコミュニケーションを取ることも無かったため、迎へに行った空港でどのように成長したのか楽しみにしていました。ホストファミリーに美味しい食事をご馳走になっていたのか、少し丸くなった体格と、自信を持った顔つきになった息子を見たとき、この留学はきついい経験になったのだろうと確信しました。

帰りの車で矢継ぎ早に経験したことを話す息子の言葉の中で、強く印象に残ったのが社会の授業の話でした。それは日本の社会の詰め込み授業とは全く違う考えさせる授業だったとのことでした。その授業の一つで日本ではあまり深く語られることのない広島への原爆投下に関してそれぞれの意見を話す授業があり、善悪だけではないその必要性や様々な感情を含め皆が自分の意見を交わすことがとても有意義だったと息子は力強く話していました。画一的な考えではなく、様々な意見があるということを感じることが出来ただけでも、日本には出来ない体験だったと思います。

帰国後も自分のやりたいことに向けて着実に歩み続けている息子を見ると、この留学は彼にとって掛け替えのない経験になっただけでなく、そこで得られた様々な経験や多くの友人たちは今後の彼の人生を間違いなく彩り豊かなものにしてけると確信しています。

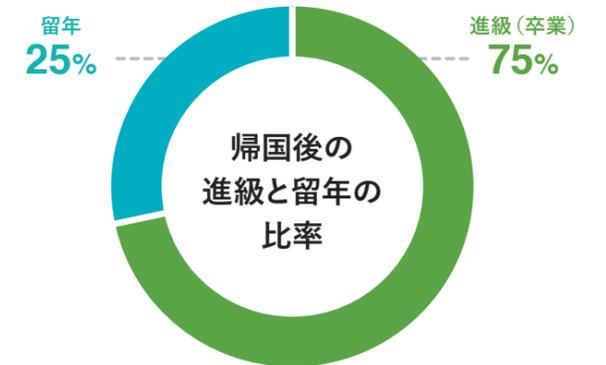
直接お礼をすることは叶いませんが、こんな素晴らしい体験をサポートして下さった Ayusa のスタッフ様を始め、ホストファミリーや受け入れ先の学校の皆様に感謝の言葉を伝えるとともに、これからも息子のように素晴らしい体験をする子供たちが多く生まれることを祈念します。



帰国後の進路 COURSE

帰国後の進級・留年について

帰国後の進級・留年については日本の在籍高校への確認が必要となります。2019年のデータでは進級が75%、留年が25%となっています。帰国後の進路はその人によって様々です。アユサの先輩は保護者と共に何が自分の将来にとってベストなのかを考え、進路選択をしています。



留学経験を活かせる進路

大学一般入試

留学から戻った多くのアユサ生には大学受験が控えています。3年生に復学した場合、現役合格を目指すにはそれなりの努力が必要ですが、努力の結果、見事に難関大学合格を果たしているアユサ生も少なくありません。また3年生で留学して復学と同時に卒業となったアユサ生の多くは、8月ないし9月から予備校に通って受験勉強に励み、ほとんどの先輩が志望大学に合格しています。

大学AO入試

近年多くの大学では、AO入試という入試制度を設けています。アユサ生は高校留学という大きな体験をしたことが評価されるだけでなく、留学中にレポートの記述力や自己アピール力など優れた表現力を身につけてくるため、AO入試に強いという傾向が出ています。

外国の大学への進学

高校留学を終えたアユサ生は、留学していた国、あるいはその他の外国への進学を検討することもあります。高校卒業後すぐに海外の大学に進学する道を望んだり、大学で再び交換留学を希望したりする場合もあるでしょう。海外の大学進学・留学はアユサ生の留学経験がより有利に働くチャンスです。

帰国後の進学先(抜粋)

国公立

東京大学、一橋大学、北海道大学、国際教養大学、筑波大学、東京工業大学、東京外国語大学、横浜国立大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学など

私立

慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、国際基督教大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、明治大学、東京理科大学、津田塾大学など

海外の大学

コロンビア大学、ジョージタウン大学、ボストン大学、ニューヨーク大学、カリフォルニア州立大学、ペンシルバニア州立大学、ワシントン州立大学、南カリフォルニア大学など

大学受験体験談

VOICE



AO入試で 第一志望校に合格

魚島さん

早稲田大学在学中 / 派遣先：ジョージア州

Q 帰国後の受験勉強について教えてください。

留学に行く前から留学後は推薦入試やAO入試で日本の大学に行こうと考えていました。留学中はあまり帰国後のことは考えないようにしていましたが、帰国直前に親と相談して予備校に入ることを決めました。その後、自分の行きたい大学を3つ決め、どれかには確実に受かるよう、勉強を始めました。

夏休み中は、TOEFLとSAT(アメリカの大学入試でも使われるテスト)で点数を上げることに取り組みました。また、志望理由書の作成にあたって自分が何をやりたいのかを改めて考え、書いたものを先生などに添削してもらっていました。夏休み後は希望の大学の試験対策勉強で、過去問を解くなど演習に力を入れました。また、帰国してからずっと英字新聞を取り、本番のエッセイの題材にできるように読んでいました。

Q 留学が受験に役立った点を教えてください。

留学では話したり聞いたりして実践的に英語を使うことが多いので、TOEFLのリスニングやスピーキングパートでは楽に点数を上げることができました。また、英語に対する抵抗感がなくなったため、SATなどの長文読解も嫌になることが少なかったように思います。

それだけでなく、自分の将来の夢を具体的に考える時に留学中の経験がとても役に立ちました。食文化の違いに住んでみて初めて気が付き、それに関してビジネスをしたいと考えるようになりましたが、このような興味を持つきっかけになったのは留学経験に他なりません。

Q 後輩への応援メッセージをお願いします。

私は留学が楽しかった反面、いろいろと不安になることや、苦労したこともありました。しかし、誰も知り合いのいない、文化も違うところに一人で長期間滞在するのですから、大変なことがあるのは当たり前です。それでも、これまでの全てのアユサ生が経験したのと同じように、問題にちゃんと向き合っただけで努力すれば、徐々に慣れ、楽しくもなっていきます。

自分を信じて、やれることを着実にやることで、留学は絶対に自分の中で大切な思い出や将来への糧になります!楽しむことを忘れず、自分らしく頑張ってください。

よくある質問 Q & A

Q1

いつごろから準備を始めたらいいですか？

アユサは出発年の1年以上前から募集を開始しています。選考試験は年に数回実施されますが、合格後に行う書類の作成、予防接種や事前オリエンテーションへの参加等の準備期間を考え、余裕をもって選考試験を受けることをお勧めします。

Q2

留学にあたって学校の成績は関係ありますか？

留学先の高校に、過去3年間と現学年の最新の日本の学校の成績を提出します。主要教科の成績が平均を下回っていたり、英語の成績が悪かったりすると、アメリカの高校で受け入れられない場合があります。すべての教科で平均以上を維持していることが必要です。

Q3

学校の許可がないと留学できないのでしょうか？

アユサ高校交換留学参加にあたり、在籍している中学校もしくは高等学校の許可が必要です。選考試験合格後に作成する英文アプリケーションには、日本の学校の先生に作成していただく箇所があります。

Q4

留学した場合、日本の在籍高校ではどのような取り扱いになりますか？

留学中の一年間を「休学扱い」とするか、「留学扱い」とするかは在籍高校の判断によって異なります。「休学扱い」の場合は帰国後、留学に出発した時点の学年に復学します。「留学扱い」の場合、海外での高校での1学年間を日本の高校における1学年間とみなし、帰国後は進級・卒業ができます。必ず在籍高校の先生に確認しましょう。

Q5

留学前に英語力を高めるにはどんな方法がありますか？

アユサでは登録者に対し、ELTiS対策をはじめ、様々な学習支援を提供しています。詳細は10ページをご参照ください。

Q6

奨学金制度はありますか？

アユサでは、4つの奨学金制度があります。(詳細は24ページをご参照ください。)

Q7

留学に対して準備すべき費用の概算はいくらですか？

参加費用(128万円)及び諸経費(航空運賃(2020年度の実績は48.5万円)、春のオリエンテーション費用、ビザ取得費用など)の他に、個人的なお小遣い、電話代、任意加入の保険費用、任意参加の事前英語研修費用等で、留学の総費用は、230万円程度と考えられます。

Q8

受入高校での授業についていけるか不安ですが、良い対策はありますか？

留学を決めたら、学校で受ける授業だけでなく、自分から英語に触れる機会を増やすなど、事前学習をしてください。また、現地では、わからないことがあれば、そのまませず、先生やクラスメイトなどに積極的に質問することが大切です。なお、アユサ生が学校の授業を受けながら英語力を伸ばしていく方法のひとつとして、家庭教師(チューター)制度というものがあります。これは現地の講師に週に数回、1~2時間程度勉強を教えてもらう制度で、日本でいう家庭教師と同じことです。教えてもらう時間により謝礼を支払う必要があります。家庭教師をつけるよう勧められたら、それに従い、勉強のコツやポイントを教えてもらいましょう。

Q9

ホストファミリーと受入高校はどのように決定しますか？

ホストファミリーと受入高校が決定する時期は、人によって異なります。ホストファミリーは、英文アプリケーションに記載された、各アユサ生の趣味や留学での目標、人柄などを参考に、現地スタッフが探します。高校は、ホストファミリーの学区内の高校に受け入れを打診します。自分に合ったホストファミリー・高校とめぐり合うためには、自分の人となり伝える魅力的な英文アプリケーションを作成することがポイントになります。

Q10

ホストファミリーとして、海外からの留学生を受け入れることに興味があります。どうしたらいいですか？

現在アユサではアメリカ、ドイツ、台湾などからの高校生を、交換留学生として日本に受け入れています。ボランティアのホストファミリーと受入高校を募集していますので、どうぞお気軽にアユサ事務局までお問い合わせください。詳細についてご案内いたします。

募集要項 2022年度派遣

REQUIREMENTS

募集要項

留学期間

留学期間は 2022 年 7 月～9 月より 2023 年 5 月～6 月までです。
※派遣先（ホストスクール、ホストファミリー）によって開始日と終了日は異なります。

応募資格

1

日本国内に居住しており、心身ともに健康でプログラムの趣旨を理解する者

2

出発時に年齢が15歳以上18歳以下の者
※18歳の方は受け入れに制限があるのでご確認ください。

3

出発時に国公立高等学校または高等専門学校に在籍し、学業成績の各評定が平均以上の者
(インターナショナルスクール等日本の高校に準じる学校の生徒及び、現在中学校3年生の方も応募可能)

4

重度のアレルギーやホストファミリーを制限するようなアレルギー（ペットがいる家族は不可など）がないこと
※主食や加工食品に多用される食物にアレルギーがある場合は重度でなくても参加いただけません。

参加費用

1,280,000円

参加費用に含まれるもの

- アユサ日本事務局による運営管理費用
- アユサ米国による運営管理費用
- 留学先地域スタッフ経費
- 登録オリエンテーション
- 出発前オリエンテーション
- 保護者同伴オリエンテーション
- 疾病傷害保険費用

※ほとんどの場合、受入公立高校における授業料は免除されますが、稀に公立高校であっても留学生には授業料を課す学校があります。受入が私立高校の場合は授業料が発生します。
※滞在中の食費（原則として朝夕）は、ホストファミリーより無償で提供されます。

その他諸費用

左記参加費用に含まれていないもの

- 日本（成田）から米国派遣先までの往復航空運賃・手配に関わる費用（アユサ日本事務局において手配・購入する。2020年度実績：485,000円）
- 入・出国時の通関税、空港施設使用料、燃油サーチャージ等
- 出発時、帰国時の日本国内における交通費、食費、宿泊費パスポート取得費用
- ビザ申請・取得、SEVIS及び渡航手続きに関する費用
- 日本国内で実施するオリエンテーション時の交通費、食費、宿泊費
- 日本にて任意加入の海外旅行傷害保険
- 派遣先で必要となる健康診断、予防接種費用および証明書発行手数料など
- 出発前および留学中、個人的に受ける語学学習および家庭教師費用など
- 受入先高校に必要な制服、公共交通機関での通学費、諸活動費
- 留学期間中任意参加の見学旅行費用
- 留学期間中の私的費用（おこづかい、電話代等）

奨学金制度

アユサ日本事務局の奨学金は留学生として世界に羽ばたくために努力する方を応援する奨学金制度です。

早期
応援

早期登録奨学金

4月～6月登録者
80,000円

7月～9月登録者
50,000円

10月～12月登録者
30,000円

対象

2021年4月から12月指定日までに正規合格の上、登録した方に一律で支給

最大
2名

アユサ奨学金
300,000円

対象

2021年4月から12月指定日までに正規合格し、定められたエッセイなどを提出した者

条件

英語力向上に努め、提出したエッセイと写真などが優秀と認められ、且つ指定の役割を果たせる者

最大
2名

現地レポーター奨学金
50,000円

対象

正規合格者

条件

2022年2月指定日までに正規合格し、提出した動画や写真が優秀と認められ、且つ指定の役割を果たせる者

沖縄奨学金
50,000円

対象

沖縄県在住のアユサ高校交換留学派遣生

条件

沖縄県の高等学校に在籍し、且つ指定の役割を果たせる者

※正規合格とは、期日までに所定の手続きを終え、アユサが指定する英語のテストの基準点を満たすこと。

※奨学金は一つのみ適用となります。重複することは出来ませんので予めご了承ください。

募集要項 2022年度派遣

REQUIREMENTS

説明会・選考試験

留学への第一歩は説明会への参加です。高校交換留学に興味を持ったなら、まずは説明会に参加してわからない事、もっと知りたい事を聞いてみましょう。説明会は定期的に行っていますが、日程が合わない場合は個別の調整が可能です。

定期説明会

定期的に週末や祝日に説明会を実施しています。先輩の留学・受験体験を聞くことも可能です。日程についてはアユサまでお問合せ下さい。アユサ日本事務局のホームページでもご確認いただけます。

個別相談会

東京のアユサ日本事務局や電話・スカイプなどで個人相談会を受け付けています。ご都合の良い日程で調整しますので、お気軽にお問合せ下さい。

選考試験

合否は成績と選考試験（英語のテストと保護者同伴面接）で総合判断します。選考試験は、説明会の後に実施しています。また、別の日に個別で受けることも可能です。成績と面接で問題がなければ英語のテストは登録後に再受験が可能ですので、早めに選考試験を受けることをお勧めします。

出願方法

選考試験受験をご希望の方は以下の各書類をアユサまで郵送、またはFAXで送信して下さい。

- 出願書（本パンフレット最終ページの両面に記載）
または、ホームページからオンラインの出願書に入力後、送信
- 過去3年間の出欠記録を含む成績証明書または通知表（コピー可）の提出
- 在学校の最新成績通知表（コピー可）の提出
例）中学3年生で受験する場合は小学6年、中学1年、中学2年の学年末の成績に加え、出願時までに判明している中学3年の最新成績を提出して下さい。

受験料

15,000円（税抜）

振込口座

三井住友銀行 浜松町支店
普通預金 口座番号 3042108
口座名：アユサインターナショナル

※各期の応募締切日までに上記の銀行口座に、受験者氏名にて受験料を電信扱いでお振込みください。その他の振込方法では受験者の名前が確認できない場合があります。
※一旦納入された受験料は理由の如何に関わらず返却は致しませんのでご了承ください。
※振込手数料はご負担ください。

試験内容



英語能力筆記試験（ELTiS）

英語を母国語としない人が、主にアメリカの高校に留学する際、その英語力を測るために用いられる英語のテストです。



保護者同伴の面接

応募者に心身共に留学への適応力が備わっているかを確認するための英語と日本語の面接になります。アユサ規定の確認のためにも、保護者様には必ずご同席をお願いしています。

選考試験の結果について

選考試験の結果については、必要書類の提出と英語能力筆記試験の結果が出た後、原則として1週間以内に通知します。なお、英語能力筆記試験の結果により合格基準に達しないと判断された場合、アユサ日本事務局の指定日までに英語のテストの基準点を満たすことを条件に再受験等を条件に登録を認める場合があります。

参加費用の納入

合格通知後約2週間後を期限とし、登録金として参加費用の一部（200,000円）をお支払いいただきます。残金については、原則として登録金お支払い後1ヶ月以内に納入していただき、一括もしくは2回に分納が可能です（但し2022年2月以降の受験の場合、分納の制度はありません）。参加費用、諸経費の支払いの詳細および時期に関しましては、合格時に送付する書面にてお知らせします。

説明会・個別相談・選考試験の申込み受付先

TEL 0120-955-414

MAIL intrax@intraxjp.com

URL <https://www.intraxjp.com/ayusa/>

アユサ



アユサインターナショナル日本事務局

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-11 マリンクスタワー 7F

TEL : 03-3434-2636

FAX : 03-3434-2617

フリーダイヤル : 0120-955-414

URL : <https://www.intraxjp.com/ayusa/>

MAIL : intrax@intraxjp.com



Japan Office Map

アユサ高校交換留学選考試験願書

FAX : 03-3434-2617 までお送りください。

選考試験願書記入欄

裏面の「出願に当たってのご注意」をご覧ください、ご記入ください。

(ふりがな)		性別	生年月日		
氏名		男・女	西暦	年	月 日
ローマ字表記	※パスポートと同じもの				
(ふりがな)		国籍	出生国名*1		
現住所	〒 (-)				
TEL		FAX			
携帯電話		E-mailアドレス			
成績について	<input type="checkbox"/> 5段階	<input type="checkbox"/> 10段階	学期について	<input type="checkbox"/> 2学期制	<input type="checkbox"/> 3学期制
(ふりがな)			学年		
在学学校名	立	高等 中 学校	科	年	
(ふりがな)					
在学学校住所	〒 (-)				
学校長名	クラス担当	英語教科担当者	TEL		
			留学担当者		
希望試験日	好きな学科・資格(英検等)				

保護者記入欄

(ふりがな)		本人との続柄		
氏名				
(ふりがな)		職業		
勤務先名称				
(ふりがな)				
現住所	〒 (-) ※本人と異なる場合のみ記入			
署名	上記の出願に同意します。	E-mailアドレス		
	年 月 日	家族構成		
	保護者氏名	氏名	年齢	職業
	上記の出願に同意します。			
年 月 日				
本人氏名				

*1: 出生国…生まれた病院がある国、国籍が出生地主義の国で生まれた方はビザに関係いたしますので正確にご記入下さい。

キリトリ線

出願に当たってのご注意

FAX : 03-3434-2617までお送りください。

- この願書に、もれなく正確に記入してください。
- 出願には次の各書類をアユサまで郵送または持参してください。
 - アユサ高校交換留学選考試験願書
 - 在学成績最新通知表コピー（現学年の最新成績を提出）
 - 過去3年間の通知表のコピー※成績表が間に合わない場合は、出願書にその旨をご記入ください。
- 選考料15,000円（税抜）は出願者名にて、出願締切日までに下記銀行口座に電信扱いにてお振込みください。

振込先銀行：三井住友銀行 浜松町支店
振込先口座：普通預金 口座番号 3042108
口座名義：アユサインターナショナル

アンケートにご協力ください

(ふりがな)	
氏名	
アユサ高校留学制度を何で知りましたか?	1. 学校（ポスター・先生） 2. 新聞（ ） 3. 雑誌（ ） 4. インターネット（ ） 5. その他（ ）
海外渡航歴はありますか?	有 ・ 無（有の場合は下記記入） 年/月 国名 滞在期間 年 月 日
他団体と併願していますか?	有 ・ 無（有の場合は下記記入） 併願団体名
アユサの説明会に参加したことがありますか?	有 ・ 無（有の場合は下記記入） 年 月 頃
希望受験会場	

個人情報の取り扱いについて

本願書によって得た個人情報は、下記の目的のために利用させていただきます。

- 留学の手続きのため
- 留学のご案内のため
- ご意見やご感想の提供依頼のため

なお、申し込み履行のため宿泊、査証、教育などの関連する機関に出願者ならびに保護者様の必要な範囲において提供させていただく場合があります。ご同意の上お申し込みください。

キリトリ線

Create Your Future

Ayusa by Intrax

© 2020 Ayusa International. All rights reserved.